

まちをもっと好きになる

広報

高松

11

November 2021

変わる公共交通 つながる駅編
ことでん伏石駅グランドオープン



11月6日

つながる駅編

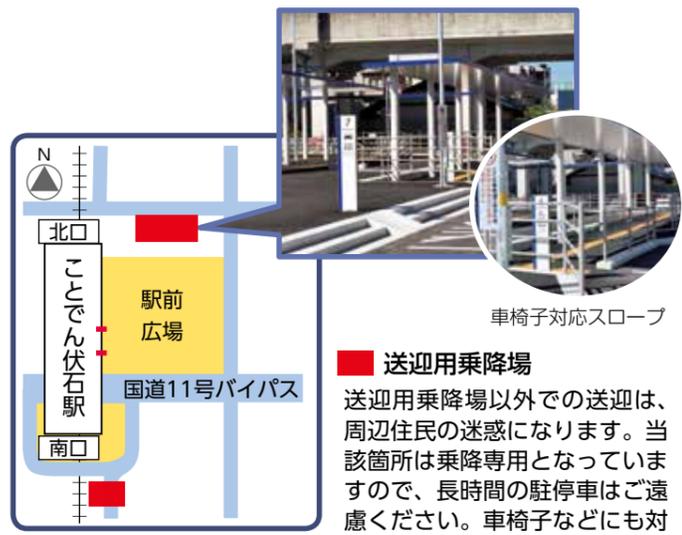
変わる公共交通

お問い合わせ 交通政策課(☎839・2138)

ことでん伏石駅 グランドオープン



▼ ことでん伏石駅駅前広場



送迎用乗降場
送迎用乗降場以外での送迎は、周辺住民の迷惑になります。当該箇所は乗降専用となっていますので、長時間の駐停車はご遠慮ください。車椅子などにも対応したスロープもあります。

11月7日(日)より、路線バス、高速バスが伏石駅に乗り入れます。バス路線の詳しいダイヤや運賃等は、各運行事業者へお問い合わせください。

- ▶ 路線バス
 - ことでんバス (☎821・3033)
- ▶ 高速バス
 - 大川バス (☎851・8684)
 - 四国高速バス (☎881・8822)



高松市では、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みとして、交通結節拠点となる新駅整備やバス路線の再編を進めています。その核となることでん伏石駅は、駅舎の完成に伴い、昨年11月28日に先行開業しました。そしてこの度、駅前広場の完成により、いよいよ本市の新たな交通結節拠点となることでん伏石駅がグランドオープンします。

駅前広場には、バスターミナルを始め、タクシーや自動車の乗降場、駐輪場を設け、さまざまな乗り物につながる、新たな交通の要所となります。

交通結節拠点 つながる駅



バス乗り場



駐輪場



ロータリー

このように公共交通を取り巻く環境が大きく変化する中、公共交通の維持に向けて、いかに効率よく、持続可能な移動サービスを提供するかが課題となっています。

そこで、ニーズに応じたバス路線に再編し、鉄道とバスを繋げる交通結節拠点として整備したのが、伏石駅です。ことでん伏石駅の整備は、バス路線の再編と密接に関係します。

伏石駅の整備と バス路線の再編

高松市では、マイカーの普及と道路網の整備により、郊外部における宅地開発が急速に進みました。その結果、ますますマイカーへの依存が高まり、公共交通の利用者は減少の一途を辿り、約30年間で約30系統のバス路線が廃止になりました。

高松市では、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みとして、交通結節拠点となる新駅整備やバス路線の再編を進めています。その核となることでん伏石駅は、駅舎の完成に伴い、昨年11月28日に先行開業しました。そしてこの度、駅前広場の完成により、いよいよ本市の新たな交通結節拠点となることでん伏石駅がグランドオープンします。

▼ ことでん伏石駅 を経由するバス路線

- 路線バス**
- ▶ ショッピング・レインボー循環バス(東廻り・西廻り)
 - ▶ 伏石駅サンメッセ線(旧 太田駅サンメッセ線)
 - ▶ 高松西高線※
 - ▶ 鹿角線(鹿角伏石駅)※(旧 鹿角線(日生ニュータウン))
- ※令和4年度より変更
- 高速バス**
- ▶ 高德エクスプレス(高松～徳島)

コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりに向け、交通の核となる新しい駅(ことでん伏石駅)を整備しました。公共交通を将来にわたって維持するためには、コロナ禍においても、みなさんに利用してもらうことが大切です。感染予防対策をしながら、通勤・通学などのお出かけの際には、マイカーばかりでなくぜひ、公共交通もご利用ください。



通学に利用している長野さん

私は、太田駅サンメッセ線を利用して、バスと電車を乗り継ぎ通学しています。乗り継ぎもスムーズで、通学の時間は、授業の確認や読書など趣味の時間に使えたり、とても有意義です。ことでん伏石駅のグランドオープンで学校の帰りにショッピング・レインボー循環バスを乗り継いで、買い物や食事に行けたりすることも楽しみです。この新しい駅をたくさんの方が利用して、賑わいが増えていくといいなと思っています。



交通政策課 川西さん